

2018 年度 研究所事業報告書

研究所名	国際地域研究所
------	---------

I. 研究成果の概要

本欄には、研究所・センターの実施した研究の成果について、その具体的内容、意義、重要性等を、研究所総合計画(5 年)および 2018 年度重点プロジェクト申請調書に記載した内容に照らし、項目立てなどをおこないできるだけわかりやすく記述してください。

本研究所(国際地域研究所[以下 国地研])は、1989 年の設立以降、国際関係学と地域研究の両分野において、先端的な研究活動をリードすることで、国内外の学術コミュニティーに貢献しようと努めてきた。その大きな目標からみて、2015 年までの到達点を、国地研の「発展第一ステージ」、2016 年からの 5 年間を「発展第二ステージ」と位置づけている。この「第二ステージ」に求められるのは、「国地研アイデンティティ」の創造と、その国内外への浸透である。今までは、ある意味「全方位的」に個々の研究プロジェクトを運営してきたが、それとは別に、特定の研究テーマを軸にした大型研究プロジェクトを編成し、その研究拠点の構築と国際発信を戦略的に進め、国地研の看板研究を国内外に認知・定着させる。過去の経験から、我々の知的蓄積の強みは国際関係学的には「平和研究」にあり、地域研究的には「東アジア研究」にあると認識している。この強みを活かし、両研究拠点を車の両輪として国地研の国際発信強化の牽引役に育てていく。また、国地研の代名詞として、「平和研究」と「東アジア研究」のツイン拠点が、広く国内外に認識されるように努めていく。これらが「第二ステージ」のミッションでありビジョンである。

以上のビジョンに基づき、全体の戦略としては、2 つの重点プロジェクトを国際展開の牽引役として位置づけ、国内外に国地研のプレゼンスを発揮させることに務めた。同時に 8 つの研究所内プロジェクトを設置し、新規の萌芽の研究課題と、継続の研究課題の両方をバランスよく支援した。また、研究成果発信を促すためにも、紀要での特集号企画を進めた。英文での論文発表の機会を増やしたい若手研究者のニーズに対応する形で、紀要の国際化も 2016 年度に取り組み、2017 年度、2018 年度で前進してきた。今後も重点プロジェクトと研究所内プロジェクトのメンバーによる積極的な国際発信をサポートしていく。

ここで重要なのは、重点プロジェクトとその他のプロジェクトを分断するのではなく、有機的に運営していくことである。そのためにも、研究関心領域が重なる部分を意識的に発見し、それを軸にプロジェクトを横断する形で研究会をアドホックに開催する試みを 2018 度は重視した。その実践は例えば「一带一路とインド太平洋時代の地域秩序」の実施である。このワークショップでは、2つの重点プロジェクトと研究所内プロジェクトが相互に乗り合う形でテーマが設定され、報告と議論を行った。このような空間の提供は、若手研究者や院生にとって刺激的な学びの実践につながる。研究科単位ではできない教育の場を国地研が作っていく—これが 2018 年度も成果を見せたといつてよい。

以上を踏まえ、研究所の 2018 年度の主要な成果は以下の通りである。重点プロジェクトの「紛争・平和構築研究」では、世界の紛争分析を中心に研究し、その成果は、図書出版を 8 点、論文 13 本、学会発表 44 回、メディア掲載や講演 66 回となった。ジャーナルの特集号も組んだ。若手研究者についても博士号が出た。同じく重点プロジェクトの「中国「強国化」の諸相」では中国外交に関する国際シンポを実施し、図書出版 4 点、論文 21 本、研究発表 22 回となった。国際ジャーナルの特集号も出している。

研究所内プロジェクトは、「日米中政治経済研究会」、「中国法・アジア法研究会」、「中国語圏地域人文学研究会」、「EU 研究会」、そして新規の「イスラームと中東研究会」、「グローバル国際関係研究会」、「アフリカ研究会」、「アフガニスタン研究会」が、それぞれ積極的な研究活動を行った。その成果は多岐に渡るため、ここでは紹介しないが、以下の研究業績欄を参照してもらえれば幸いである。

総合的に、研究成果については 5 年計画と照らしても順調に進捗している。しかしながら、研究成果をいかに外部資金の獲得につなげていくかは、研究所にとって引き続き残された大きな課題であり、特に中型・大型の外部資金の獲得に向けて、努力と工夫が今後も必要であると改めて思う次第である。

II. 拠点構成員の一覧

本欄には、2019年3月31日時点で各拠点にて所属が確認されている本学教員や若手研究者・非常勤講師・客員協力研究員等の構成員を全て記載してください。

※若手研究者とは、立命館大学に在籍する以下の職位の者と定義します。

①専門研究員・研究員、②補助研究員・RA、③大学院生、④日本学術振興会特別研究員(PD・RPD)

役割	氏名	所属	職位
研究所長・センター長	本名純	国際関係学部	教授
研究所副所長	足立研幾	国際関係学部	教授
運営委員	末近浩太	国際関係学部	教授
	嶋田晴行	国際関係学部	教授
	岩田拓夫	国際関係学部	教授
	中本悟	経済学部	教授
	宇野木洋	文学部	教授
	安江則子	政策科学部	教授
	守政毅	経営学部	教授
	小田美佐子	法学部	准教授
学内教員 (専任教員、研究系教員等)	藪中三十二	国際関係学部	客員教授
	君島東彦	国際関係学部	教授
	中戸祐夫	国際関係学部	教授
	板木雅彦	国際関係学部	教授
	星野郁	国際関係学部	教授
	中川涼司	国際関係学部	教授
	FRENCH Thomas W	国際関係学部	准教授
	安高啓朗	国際関係学部	准教授
	廣野美和	国際関係学部	准教授
	クロス京子	国際関係学部	准教授
	福海さやか	国際関係学部	准教授
	森下明子	国際関係学部	准教授
	松下列	国際関係学部	特任教授
	文京洙	国際関係学部	特任教授
	石原直紀	国際関係学部	特任教授
	高須幸雄	国際関係学部	特任教授
	上野隆三	文学部	教授
	三須祐介	文学部	准教授
	宮内肇	文学部	准教授
	廣澤裕介	文学部	准教授
	中川正之	文学部	客員教授
	山本一	文学部	専任講師
	斎藤敏康	経済学部	特任教授
	絹川浩敏	経営学部	教授
	陳晋	経営学部	教授
	西村陽造	政策科学部	教授

	宮脇昇	政策科学部	教授	
	角本和理	政策科学部	准教授	
	出口雅久	法学部	教授	
	植松健一	法学部	教授	
	村本邦子	応用人間科学研究科	教授	
学内の若手研究者	① 専門研究員・研究員			
	② リサーチアシスタント			
		楊鵬超	国際関係研究科	博士後期課程院生
		岡田啓輔	国際関係研究科	博士後期課程院生
		Adhi Priamarizki	国際関係研究科	博士後期課程院生
		Radesa Budipramono	国際関係研究科	博士後期課程院生
		Khairul Hasni	国際関係研究科	博士後期課程院生
		Sugit Arjon	国際関係研究科	博士後期課程院生
		Rika Kurniaty	国際関係研究科	博士後期課程院生
		Ivanova Polina	国際関係研究科	博士後期課程院生
		Malai Andrei	国際関係研究科	博士後期課程院生
		Jang Youngjoo	国際関係研究科	博士後期課程院生
		Lee Jaiyong	国際関係研究科	博士後期課程院生
		Choi Yoon Hyuk	国際関係研究科	博士後期課程院生
		Lee Darae	国際関係研究科	博士後期課程院生
		Cho Chanhyun	国際関係研究科	博士後期課程院生
		馬場一輝	国際関係研究科	博士後期課程院生
		生駒智一	国際関係研究科	博士後期課程院生
		福本侑季	国際関係研究科	博士後期課程院生
		藁谷達至	経済学研究科	博士後期課程院生
	③ 大学院生	山上亜紗美	政策科学部	博士後期課程院生
		朱省志	法科学研究科	博士後期課程院生
		Mukti Ram Rijal	国際関係研究科	博士前期課程院生
		杜晓月	国際関係研究科	博士前期課程院生
		黄瀚仪	国際関係研究科	博士前期課程院生
		Fred Hendricks III	国際関係研究科	博士前期課程院生
		劉吉祥(LIU Jixiang)	国際関係研究科	博士前期課程院生
		藺丹亭(LIN Danting)	国際関係研究科	博士前期課程院生
		董峰(DONG Feng)	国際関係研究科	博士前期課程院生
		趙昊天(ZHAO Haotian)	国際関係研究科	博士前期課程院生
		胡若蘭(HU Ruolan)	国際関係研究科	博士前期課程院生
		長島朝子	国際関係研究科	博士前期課程院生
		Linh Thuy Le	国際関係研究科	博士前期課程院生
	Aaria Agustini Sari	国際関係研究科	博士前期課程院生	
	Guragain Yuba Raj	国際関係研究科	博士前期課程院生	
	Franklin Adam Jacob	国際関係研究科	博士前期課程院生	
	Migita Valerie Malia	国際関係研究科	博士前期課程院生	
	De Wet Nico Els	国際関係研究科	博士前期課程院生	
	Ascensio Manuel	国際関係研究科	博士前期課程院生	

④ 日本学術振興会特別 研究員(PD・RPD)	Katuwal Puspa Raj	国際関係研究科	博士前期課程院生
	山口康大	国際関係研究科	博士前期課程院生
	佐藤麻理恵	衣笠総合研究機構	学振 PD
	黒田彩加	衣笠総合研究機構	学振 PD
	河村有介	衣笠総合研究機構	学振 PD
その他の学内者 (補助研究員、非常勤講師、研究 生、研修生等)	山根和代	国際関係学部	非常勤講師
	中川洋一	法学部	非常勤講師
	平賀緑	政策科学部	授業担当講師
	申鉉昨	国際関係学部	授業担当講師
	城山拓也	言語教育センター	外国語嘱託講師
	竇少杰	経営学部	助教
	楊秋麗	政策科学部	講師
	円城由美子	衣笠総合研究機構	客員研究員
	菊池俊介	B K C 社系研究機構 社会シス テム研究所	客員研究員
	山本健介	衣笠総合研究機構	客員研究員
	渡邊駿	衣笠総合研究機構	客員研究員
	岡野英之	OIC 総合研究機構	補助研究員
	田中宏	経済学部	名誉教授
客員協力研究員	韓金江	岐阜経済大学経営学部	教授
	森原康仁	三重大学人文学部	准教授
	小山大介	宮崎大学テニユアトラック推進機 構	テニユアトラック 准教授
	松村博行	岡山理科大学経営学部	准教授
	井出文紀	近畿大学経営学部	准教授
	田村太一	流通経済大学経済学部	准教授
	藤山一郎	和歌山大学クロスカル教育機構 国際学生部門	准教授
	吉偉偉	暨南大学国際関係学院	准教授
	鈴木章悟	英国マンチェスター大学社会科 学部	准教授
	鳥谷まゆみ	北九州市立大学外国語学部	准教授
	潘燕萍	深圳大学管理学院	講師
	魏聰哲	中華経済研究所	副研究員
	李愛俐娥	早稲田大学地域・地域間研究機 構	招聘研究員
	李才龍	社団法人「平和」	理事
	山川卓	国際地域研究所	客員協力研究員
田村あずみ	国際地域研究所	客員協力研究員	
南玉瓊	国際地域研究所	客員協力研究員	

その他の学外者	白石隆	熊本県立大学	理事長
	高島宏明	京都大学大学院総合生存学館	特定教授
	苑志佳	立正大学	教授
	アジャイ・デュベイ	ジャワハルラル・ネルー大学	教授
	高橋基樹	京都大学	教授
	バン・フアチン	北京大学	教授
	リウ・ハイファン	北京大学	教授
	チャン・ヨンキュー	韓国外国語大学	教授
	ペドロ・カルバリーユ	関西大学	教授
	スカーレット・コーネリッセン	ステレンボシュ大学	教授
	朱曄	静岡大学地域法実務実践センター	教授
	井上博	阪南大学流通学部	教授
	櫻井公人	立教大学経済学部	教授
	千葉典	神戸市立大学	教授
	方素梅	中国社会科学院	教授
	河知延	近畿大学産業理工学部	教授
	Amitav Acharya	American University	教授
	Lam Peng Er	National University of Singapore	教授
	Mely Cabellero Anthony	Nanyang Technological University	教授
	Ukrist Pasmanand	Chulaongkorn University	教授
	曹喜庸	韓国国立外交院	兼任教授
	キム・ヒョスク	関西外国語大学	准教授
	フー・ホイエー	専修大学	准教授
	林裕	福岡大学商学部	准教授
	山尾大	九州大学	准教授
	吉川卓郎	立命館アジア太平洋大学	准教授
	向渝	香川大学	准教授
	村上友章	流通科学大学	准教授
	Agus Trihartono	Jember University	講師
	Shofwan Albana C	University of Indonesia	講師
	アパラジタ・ビスワス	ムンバイ大学	名誉教授
	原田徹	同志社大学	助教
徐林卉	上海社会科学院	副研究員	
石川幸子	国際協力機構	国際協力専門員	
松嶋紀美子	大阪市立大学	博士後期課程院生	
研究所・センター構成員 計 147 名 (うち学内の若手研究者 計 42 名)			

5. 研究業績

本欄には、「実施体制」に記載した研究者の研究業績のうち、本プロジェクトに関わる研究業績を全て記載してください。(2019年3月31日時点)

(1). 著書							
No.	氏名	著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行年月	発行所、発表雑誌(及び巻・号数)等の名称	その他編者・著者名	担当頁数
1	松村博行	メガ FTA の時代における日本の通商政策	共著	2018年4月	法律文化社、「日本外交の論点」	佐藤史郎, 川名晋史, 上野友也, 齊藤考祐(編)	pp.222-232
2	君島東彦	六面体としての憲法9条—憲法平和主義と世界秩序の70年	共著	2018年5月	三省堂、「憲法問題29」	全国憲法研究会(編)	pp.9-21
3	苑志佳	IT産業	共著	2018年5月	明石書店、「中国年鑑2018」	一般社団法人中国研究所(編)	pp.160-162
4	城山拓也	「中国現代文学傑作セレクション—1910-1940年代のモダン・通俗・戦争」	共編訳著	2018年6月	勉誠出版	大東和重, 神谷まり子	662 pp
5	苑志佳	グローバル金融危機後の中国企業のグローバル化—ブラジルへ進出する中国自動車企業を中心に	共著	2018年8月	ナカニシヤ出版, 「グローバル金融危機後の世界経済の変貌: 米国—新興国経済を中心に」	河村哲二(編著)	pp.290-321
6	君島東彦	日本国憲法の平和主義は日本の安全と世界の平和に貢献しているか	共著	2018年9月	法律文化社, 「平和をめぐる14の論点—平和研究が問いつけること」	日本平和学会(編)	pp.241-260
7	田村太一	グローバル化の推進軸としてのICT産業	共著	2018年9月	東京大学出版会, 「現代アメリカの経済社会: 理念とダイナミズム」		pp.201-242
8	安高啓朗	国際関係理論は終わったのか—グローバル国際関係学にみる自己省察の行方	共著	2018年11月	ナカニシヤ出版, 『「国際政治学」は終わったのか—日本からの応答』	葛谷彩, 芝崎厚士(編)	pp.127-148
9	松村博行	武器輸出をめぐる論争の構図—アクター間にみられる対立関係と緊張関係	共著	2018年12月	法律文化社, 「安全保障の位相角」	川名晋史, 佐藤史郎(編)	pp.127-148
10	本名純	Civil-Military Relations in an Emerging State: A Perspective from Indonesia's Democratic Consolidation	共著	2018年12月	SpringerOpen, Emerging States at Crossroads	Keiichi Tsunekawa and Yasuyuki Todo(eds)	pp.255-270
11	中川洋一	政治体制—多数派型と交渉型のハイブリッド型民主主義体制	共著	2018年12月	明石書店, 「ルクセンブルクを知るための50章」	田原憲和, 木戸紗織(編著)	pp.110-114
12	中川洋一	政党と政党システム—党優位四党システムへの変容	共著	2018年12月	明石書店, 「ルクセンブルクを知るための50章」	田原憲和, 木戸紗織(編著)	pp.115-120
13	中川洋一	利益集団とネオコーポラティズム—「ルクセンブルク・モデル」とそのゆくえ	共著	2018年12月	明石書店, 「ルクセンブルクを知るための50章」	田原憲和, 木戸紗織(編著)	pp.121-124
14	中川洋一	小国の国家戦略1—ミニラテラリズムとしてのベネルクス	共著	2018年12月	明石書店, 「ルクセンブルクを知るための50章」	田原憲和, 木戸紗織(編著)	pp.156-159
15	中川洋一	小国の国家戦略2—「調停役」主体の受身の外交から積極主義への転換—	共著	2018年12月	明石書店, 「ルクセンブルクを知るための50章」	田原憲和, 木戸紗織(編著)	pp.160-164
16	中川洋一	ヴェルナー首相とEECの救援—小国外交の可能性と限界	共著	2018年12月	明石書店, 「ルクセンブルクを知るための50章」	田原憲和, 木戸紗織(編著)	pp.165-167
17	中川洋一	ジャン＝クロード・ユンカー(Jean-Claude Juncker)と欧州統合	共著	2018年12月	明石書店, 「ルクセンブルクを知るための50章」	田原憲和, 木戸紗織(編著)	pp.168-170
18	朱擘	民法研究指引	共訳	2018年12月	北京大学出版社	徐浩 他	pp.55-90 pp.139-160
19	円城由美子	イラクの女性たち—平和構築におけるジェンダー	単著	2019年2月	晃洋書房		248 pp.
20	黒田彩加	イスラーム中道派の構想力—現代エジプトにおける社会・政治変動のなかで	単著	2019年2月	ナカニシヤ出版		322 pp.

21	森原康仁	[新版] 図説経済の論点	共著	2019年2月	旬報社		pp.0-21, 138-141,191
22	中川涼司	ゴジラと日本映画産業	共著	2019年3月	大阪大学出版会, 「アメリカ人の見たゴジラ、日本人の見たゴジラー Nuclear Monsters Transcending Borders」	池田淑子(編)	pp.120-149
23	廣野美和	戦争と外交	共著	2019年3月	東洋経済新報社, 「教養としての世界史の学び方」	山下範久(編)	pp.340-358
24	苑志佳	北アフリカの自動車部品工場——欧州市場と連携するモロッコとチュニジアの日系工場を中心に——	共著	2019年3月	時潮社, 「アフリカの日本企業—日本的経営生産システムの移転可能性—」	糸久正人・公文溥(編著)	pp.301-320
25	末近浩太	「アラブの春」以後のイスラーム主義運動	編著	2019年3月	ミネルヴァ書房, 『「アラブの春」以後のイスラーム主義運動』	高岡豊, 溝渕正季	pp.9-28
26	足立研幾	第二章「軍縮規範を取り巻く構造転換」	編著	2019年3月	信山社, 「軍縮・不拡散の諸相」	日本軍縮学会(編)	pp.25-43

(2). 論文								
No.	氏名	著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行年月	発行所、発表雑誌、巻・号数	その他編者・著者名	担当頁数	査読有無
1	竇少杰	日本酒界兩位女性第五代的奮闘(日本酒業界の二人の女性五代目)	単著	2018年4月	中国経営報社, 家族企業, 35		pp.59-65	無
2	朱曄	如何构建民法典继承编中的特留份制度	単著	2018年5月	蘇州大学学报(法学版), 2018年第2期		pp.56-65	
3	末近浩太	「IS」後のシリア紛争: 輻輳する3つの「テロとの戦い」	単著	2018年5月	日本国際問題研究所, 国際問題, 671		pp.37-48	無
4	末近浩太	9年ぶりに実施されたレバノン総選挙: 「イランの影響力拡大」は本当か?	単著	2018年5月	外務省, 外交, 49		pp.84-89	無
5	板木雅彦	価格ニューメラルと国際不等労働量交換	単著	2018年6月	国際関係学部 立命館国際研究, 31(1)		pp.39-77	無
6	井出文紀	仁丹のある風景——戦前における仁丹町名表示板の設置状況をめぐって	単著	2018年6月	大正イマジユリイ学会 大正イマジユリイ, 13		pp.6-34	有
7	中本悟	「トランプの経済学」とNAFTA再交渉	単著	2018年6月	新日本出版社, 経済		pp.122-33.	無
8	竇少杰	145年寿喜焼老舗三嶋亭と三嶋家族(145年すき焼老舗料亭三嶋亭と三嶋家族)	単著	2018年6月	中国経営報社, 家族企業, 37		pp.53-61	無
9	末近浩太	レバノン総選挙: 「ヒズブラー躍進」の意味	単著	2018年6月	岩波書店, 世界, 910		pp.25-28	無
10	角本和理	サイバー時代におけるプライバシーの法理論(5)——私法上の問題を中心に——	単著	2018年7月	北大法学論集, 69(2)		pp. 75-146	有
11	竇少杰	生田産機工業的送恩経営哲学(生田産機工業の送恩経営)	単著	2018年7月	中国経営報社, 家族企業, 38		pp.70-73	無
12	苑志佳	米中貿易摩擦の深層に隠れた次のヘゲモニー競争—次世代中心産業の競争を中心に—	単著	2018年7月	立正大学, 経済学季報, 68(1)		pp.1-44	有

13	朱曄	中国における高齢者 事理弁識能力の低下 と民事法の対応	単著	2018年8月	韓国民事法学 2018		pp.218-250	無
14	陳晋	躍進している中国ス マホ企業の光と陰： 国内トップだった小 米の盛衰を中心に	単著	2018年8月	アジア経営学会, アジア経営 研究, 24		pp.123-135	有
15	竇少杰	長谷川家族的な人々 代々守護の千年副業 (長谷川家の女たちが 代々守っている千年 の「副業」)	単著	2018年8月	中国経営報社, 家族企業, 39		pp.48-52	無
16	朱曄	実務から見た台湾民 法改正の必要性	翻訳	2018年9月	静岡法務雑誌, 10	詹森林	pp.201-212	無
17	小田美佐子	台湾民法債権編改正 をめぐる新動向	翻訳	2018年9月	静岡法務雑誌, 10		pp.213-234	無
18	佐藤麻理絵	難民ホスト国ヨルダ ンにおける国内アク ターの展開—イスラ ーム的 NGO の分析 を通じて—	単著	2018年9月	京都大学大学院アジア・アフ リカ地域研究研究科, アジ ア・アフリカ地域研究, 18(1)		pp.1-19	有
19	竇少杰	改訂日本終身雇用模 式の創業者：専訪日 本保聖那集団社長南 部靖之先生(日本の終 身雇用を打破した創 業者：パソナグルー プの南部靖之社長へ のインタビュー)	単著	2018年9月	中国経営報社, 家族企業, 40		pp.43-48	無
20	板木雅彦	リカード・マルクス 型貿易理論を目指し て：比較優 位・劣位と分配	単著	2018年10月	日本国際経済学会, 国際経済		pp.67-102	無
21	井出文紀	北陸地域政策研究フ ォーラム 2017 年度 報告 日本酒蔵元の 輸出増加と販路拡大 に向けた挑戦——飛 騨、信州の事例から	単著	2018年10月	域公共政策学会, 地域公共政 策研究, 27		pp.73-78	無
22	末近浩太	レバノン第19期国民 議会選挙とヒズブル ラーの躍進	単著	2018年10月	中東調査会, 中東研究, 533(2)		pp.68-84	無
23	竇少杰	梅守家族哲学：用正 能量去面对一切挑戰 (梅守家の哲学：前向 きにすべての困難に 立ち向かう)	単著	2018年10月	中国経営報社, 家族企業, 41		pp.48-52	無
24	角本和理	サイバー時代におけ るプライバシーの法 理論(6)——私法上の 問題を中心に——	単著	2018年11月	北大法学論集, 69(4)		pp.1-56	有
25	城山拓也	キャラクター論から 見る王先生—葉浅予 「王先生別伝」をめ ぐって	単著	2018年11月	研文出版, 中華文藝の饗宴— 『野草』, 100		pp.199-229	無
26	君島東彦	憲法9条と国際協調 主義—平和構築をめ ぐる議論を整理する	単著	2018年11月	新山社, 憲法研究, 3		pp.29-43	無
27	竇少杰	稲盛和夫的不為清單 (稲盛和夫の「やらな い」リスト)	単著	2018年11月	中国経営報社, 家族企業, 42		pp.16-22	無
28	君島東彦	平和研究と憲法	単著	2018年12月	日本平和学会, 平和研究, 50		pp.i-x	無
29	クロス京子	「女性・平和・安全保 障」のパラドックス	単著	2018年12月	日本国際政治学会, 国際政 治, 194		pp.141-156	有

		一ジェンダーから見る紛争後リベリアのハイブリッド治安部門改革						
30	岩田拓夫	Political impact of decentralization in Africa	単著	2018年12月	立命館大学国際関係研究科, Ritsumeikan Annual Review of International Studies 17		pp.1-25	無
31	竇少杰	146年歴史的近江商人 TANEYA 集团的商法(146年近江商人老舗たねやの商法)	単著	2018年12月	中国経営報社, 家族企業, 43		pp.52-59	無
32	Miwa Hirono	China and Peacekeeping	単著	2019年1月	Oxford University Press, Oxford Bibliographies in Chinese Studies	Tim Wright(ed)	Onlineにつきなし	有
33	苑志佳	中国改革開放40年の達成と今後の課題について	単著	2019年1月	立正大学, 経済学季報, 68(2・3)		pp.1-38	無
34	竇少杰	300年老舗美濃吉の商法と事業承継	単著	2019年1月	立命館大学経営学会, 立命館経営学, 57(5)		pp.147-160	無
35	嶋田晴行	ドイツの「難民」問題とアフガン人の位置 - 「二級」市民が意味するもの	単著	2019年2月	立命館大学国際関係学部, 立命館国際研究, 31(3)		pp.55-75	無
36	Miwa Hirono	Asymmetrical Rivalry between China and Japan in Africa: To What Extent has Sino-Japan Rivalry Become a Global Phenomenon?	単著	2019年2月	Taylor & Francis Group, The Pacific Review, Online		pp.1-32	有
37	黒田彩加	"Rethinking Discussions on "Islam" and "State" in Contemporary Egypt: The Community-Based Approach in Tariq al-Bishri's Political and Legal Thought	単著	2019年2月	日本中東学会年報, 34(2)		pp.1-34	有
38	鳥谷まゆみ	漂泊のアイデンティティ: 周作人の立教大学訪問時における新史料から	単著	2019年3月	東方書店, 中国 21, 50		pp.173-196	有
39	君島東彦	アメリカン大学・立命館大学国際連携学科の開設——学士課程におけるジョイント・ディグリー・プログラムの設置と課題	共著	2019年3月	立命館大学教育開発推進機構, 立命館高等教育研究, 19	中戸祐夫, 片岡龍之, 新野豊	pp.245-263	有
40	Miwa Hirono	China's Conflict Mediation and the Durability of the Principle of Non-Interference: The Case of Post-2014 Afghanistan", The China Quarterly	単著	2019年3月	SOAS, University of London, The China Quarterly, Online		pp.1-21	有
41	Miwa Hirono	China's New Roles and Behaviour in Conflict-Affected Regions: Reconsidering Non-	共著	2019年3月	SOAS, University of London, The China Quarterly, Online	Yang Jiang & Marc Lanteigne	pp.1-21	有

		Interference and Non-Intervention						
42	廣野美和	中国の国際人道的活動と外交政策のリンク	単著	2019年3月	慶應義塾大学, 法学研究, 92(1)		pp.255-278	無
43	楊秋麗	【調査報告】瀋陽鼓風機集団股份有限公司「瀋鼓雲」の開発・利用	共著	2019年3月	立命館大学社会システム研究所, 社会システム研究, 38	松野周治, 曹瑞林, 今田治, 高屋和子	pp.227-250	無
44	苑志佳	中国のNEV市場におけるトライアングル構造の形成—中国自動車産業の再編に関する一考察—	単著	2019年3月	立正大学, 経済学季報, 68(4)		pp.1-39	無
45	苑志佳	南アフリカにおける日系自動車部品ハイブリッド工場—HESTOの事例を中心に—	共著	2019年3月	法政大学, イノベーションマネジメント研究センターワーキング・ペーパーシリーズ, オンラインジャーナル	山崎克雄	Onlineにつきなし	無
46	竇少杰	近江商人塚本家族的正月第一天(近江商人塚本家のお正月)	単著	2019年3月	中国経営報社, 家族企業, 45		pp.80-85	無
47	山本一	戦後南京市における私有建築物の接収事業	単著	2019年3月	近代東アジア土地調査事業研究ニューズレター, 9		pp.36-56	無
48	菊池俊介	日本占領下華北の在留邦人雑誌に見る「日華親善」の矛盾	単著	2019年3月	立命館大学社会システム研究所, 社会システム研究, 38		pp.79-100	有
49	千葉典	従来型優遇策と開発アジェンダの今日的意味	単著	2019年3月	日本農業経済学会, 農業経済研究, 90(4)		pp.313-320	有
50	井出文紀	日本酒蔵元の集積と販路拡大、海外展開—飛騨・信州の事例から—	単著	2019年3月	立命館大学国際地域研究所, 国際地域研究, 49		pp.69-92	無
51	森原康仁	プラットフォーム・ビジネスとGAFによるレント獲得	単著	2019年3月	日本比較経営学会, 比較経営研究, 43		pp.47-68	有
52	足立研幾	ミャンマーにおけるセキュリティ・ガバナンスの変容	単著	2019年3月	立命館大学国際関係学部, 立命館国際研究, 31(4)		pp.65-94	無

(3). 研究発表等

No.	氏名	発表題名	発表年月	発表会議名、開催場所	その他発表者名
1	黒田彩加	"Reconsidering the Debates over the Application of Sharia in Contemporary Egypt: The Community-Based Approach in Tāriq al-Bishrī's Politico-Legal Philosophy	2018年4月	Annual Conference of the British Association for Islamic Studies (BRAIS2018), University of Exeter, Exeter, Devon UK	
2	山本一	The use of Jin shen quan shu at overseas in early modern and modern times	2018年5月	Symposium "History of the Book in Vietnam", Hanoi, Vietnam	
3	星野郁	欧州中央銀行の金融政策とその評価	2018年5月	2018年信用理論研究会春季大会, 國學院大學, 東京都渋谷区	
4	廣野美和	【討論】国際社会における規範の再検討	2018年5月	グローバルパナシ学会第11回研究大会, 東京外国語大学, 東京都府中市	
5	岩田拓夫	アフリカにおけるコメディ—の新展開—ゴンドワナ共和国を事例として—	2018年5月	日本アフリカ学会第55回学術大会, 北海道大学, 札幌市北区	

6	末近浩太	紛争下シリアにおける国家観の動態:2017年社会調査の結果から	2018年5月	研究会「世論調査データの分析手法とその適用」, 早稲田大学, 東京都新宿区	
7	末近浩太	レバノン選挙とその中東情勢への影響	2018年5月	シンポジウム「緊張高まる中東:イラン、イラク、レバノン、イスラエルの今を分析する」, 明治大学, 東京都千代田区	
8	河村有介	Public Employment as a Social Welfare Policy: Job Creation in the Public Sector and Youth Exclusion in Egypt	2018年5月	International Conference on Social Policy in the Islamic World, Tehran, Iran	
9	河村有介	エジプトにおける新自由主義的経済改革と福祉レジームの変容	2018年5月	第19回社会政治研究会, 名古屋大学, 名古屋市千種区	
10	千葉典	従来型優遇策と開発アジェンダの今日的意味	2018年5月	2018年度日本農業経済学会大会, 北海道大学, 札幌市北区	
11	板木雅彦	価格ニューメレールと国際不等労働量交換:リカード・マルクス型貿易理論より	2018年5月	立命館大学経済学会セミナーシリーズ, BKCアクロスウィング, 滋賀県草津市	
12	森原康仁	データ駆動型経済とGAFAM	2018年5月	日本比較経営学会第43回全国大会, 統一論題「新たな産業革命と企業経営」, 杏林大学, 東京都三鷹市	
13	中本悟	「トランプ大統領の経済学」と製造業問題	2018年5月	アメリカ経済史研究学会, 名城大学ナゴヤドーム前キャンパス, 名古屋市東区	
14	板木雅彦	価格ニューメレールと国際不等労働量交換:リカード・マルクス型貿易理論より	2018年6月	日本国際経済学会2018年度春季大会, 北海道大学, 札幌市北区	
15	廣野美和	ミャンマーにおける中国の「不介入原則」の現実	2018年6月	立命館大学アジア日本研究所「ASEAN共同体時代の東南アジアにおける人間の安全保障」研究会, 立命館大学, 京都市北区	
16	末近浩太	地域研究は教えられるのか:各国政治・比較政治・国際政治との関係から	2018年6月	2018年度日本比較政治学会研究大会, 東北大学, 仙台市青葉区	
17	河村有介	エジプトにおけるポピュリズム型福祉レジームの発展と変容	2018年6月	日本比較政治学会第21回大会, 東北大学, 仙台市青葉区	
18	本名純	The War on Drugs and Intra-Police Dynamics in Indonesia	2018年6月	International Seminar "Changing Political Dynamics of Military, Police and Militia in Indonesia, Thailand and Myanmar", Center for Southeast Asian Studies, Kyoto University, Kyoto, Japan	
19	君島東彦	Elements of Solidarity in the Peace Principles of the Japanese Constitution	2018年6月	The 10th World Congress of Constitutional Law, The International Association of Constitutional Law, 成均館大学, Seoul, Korea	
20	宮脇昇	Bilateral dialogue can foster multilateral dialogue: Implications from the CSCCE and Japanese experience	2018年6月	The Fifth Ulaanbaatar Dialogue on NEA Security, Ulaanbaatar, Mongolia	
21	宮脇昇	国際公共政策のゲーミング	2018年6月	日本公共政策学会, 桜美林大学, 東京都町田市	
22	Miwa Hirono	China's Military Operations Other Than War: A Holistic Project or Fragmented Ventures?	2018年7月	Workshop on East Asian States Contributions to Peacekeeping, Humanitarian Assistance and Disaster Relief, Center for Strategic and International Studies, Jakarta, Indonesia	
23	星野郁	イタリアの危機、独仏協力、EUの行方	2018年7月	第106回慶應義塾大学EU研究会, 慶應義塾大学, 東京都港区	

24	廣野美和	【司会兼討論】Panel A-4: Emergency Response (3)	2018年7月	国際防災・危機管理研究 岩手会議, 岩手大学, 岩手県盛岡市	
25	苑志佳	新エネルギー車時代に向かう中国自動車市場の再編—「天下三分」の様相—	2018年7月	2018年度産業学会東部自動車研究会, 立正大学品川キャンパス, 東京都品川区	
26	岩田拓夫	Political Satire and Laughter in Africa	2018年7月	5e Rencontre des Etudes Africaines en France (5th Meeting of African Studies in France) Marseille, France	
27	岩田拓夫	African Studies in Asia [Roundtable “Etudes africaines dans une perspective comparée”]	2018年7月	5e Rencontre des Etudes Africaines en France (5th Meeting of African Studies in France) Marseille, France	
28	末近浩太	Competitive Statehood in Syria under Conflict: A Poll Survey Analysis	2018年7月	PA-185 “Conflict States in Conjunction: Analyzing ‘Intertwined Politics’ among Syria, Iraq and Jordan” The Fifth World Congress for Middle Eastern Studies (WOCMES), University of Seville, Seville, SPAIN	
29	佐藤麻理絵	Jordan’s Balancing Act to the Refugee Crisis; Redefining Civil Society	2018年7月	The Fifth World Congress for Middle Eastern Studies(WOCMES), University of Seville, Seville, SPAIN	
30	末近浩太	Diffusion and Convergence of Statehood in Syria under Conflict: A Poll Survey Analysis	2018年7月	Panel RC42.01 “Analyzing Multi-layered Perceptions of a ‘State’ in War-torn Societies” The IPSA 25th World Congress of Political Science, “Borders and Margins” Brisbane Convention and Exhibition Centre (BCEC), Brisbane, AUSTRALIA	
31	本名純	アジアにおける越境犯罪を考える～違法伐採の事例	2018年7月	セミナー「アジアの国境なき諸問題—グローバルな視座からの考察—」, 熊本大学, 熊本県熊本市	
32	足立研幾	アジアにおける非伝統的安全保障—概念の構成・伝播・影響	2018年7月	セミナー「アジアの国境なき諸問題—グローバルな視座からの考察—」, 熊本大学, 熊本県熊本市	
33	クロス京子	紛争後の和解と国家建設—アジアにおける移行期正義の現状	2018年7月	セミナー「アジアの国境なき諸問題—グローバルな視座からの考察—」, 熊本大学, 熊本県熊本市	
34	本名純	2019年インドネシア大統領選挙を考える	2018年7月	インドネシアを考える会, 国際文化会館, 京都市中京区	
35	鳥谷まゆみ	漂泊的自我認同—従周作人再訪立教大学新資料談起	2018年7月	首届周作人国際学術研討会—基礎資料的鉤沉与整理, 早稲田大学, 東京都新宿区	
36	鳥谷まゆみ	流動的“文化”想像—従周作人再訪立教大学新資料談起	2018年7月	「中国近代知識経験與文學表術」工作坊, 愛知大学, 名古屋市東区	
37	城山拓也	「良友」および万籟鳴をめぐって—人体芸術と民間芸術	2018年8月	中国文芸研究会 2018年度夏合宿, 河内長野荘, 大阪府河内長野市	
38	鳥谷まゆみ	好感/反感のあいだ: 日本占領時期周作人の翻訳活動に関する一考察	2018年8月	中国モダニズム研究会 8月例会, 金城大学, 石川県白山市	
39	宮脇昇	Why does Mongolia need the OSCE?	2018年8月	The 10th International Conference on East Asian Studies, University of Tokyo, Tokyo, Japan	
40	中川洋一	Changes in German energy policy and climate protection policy and in their governances at the energy transition (Energiewende)	2018年8月	ECPR(European Consortium for Political Research), Hamburg university, Hamburg, Germany,	
41	竇少杰	日本老舗的創新(日本老舗企業のイノベーション)	2018年8月	第6回中日企業接班傳承研討会(第6回中日家族企業事業承継フォーラム), 台湾東海大学, 台湾台中市	

42	森原康仁	垂直分裂と垂直再統合— 「産業組織の新たなアメリカ・モデル」と新興国における大量生産活動	2018年9月	アジア経営学会第25回全国大会, 統一論題「アジアにおけるパワーシフト?—新興国企業をめぐる企業間関係の新段階—」, 同志社大学, 京都市上京区	
43	竇少杰	日本老舗百年傳承的秘密 (日本老舗企業の百年繼承の秘密)	2018年9月	香港傳承学院定期例会, 香港傳承学院, 香港九龍特別行政区	
44	陳晋	中国製造業競争力の光と陰	2018年9月	アジア経営学会第25回全国大会, 同志社大学今出川キャンパス, 京都市上京区	
45	宮脇昇	摂氏38度と北緯38度: トランプの勝利とプーチンの平和	2018年9月	シンポジウム「北東アジアのスイッチ・日本海—米朝首脳会談後の北東アジアと環日本海」, 東北公益文科大学, 山形県酒田市	
46	末近浩太	Re-configuration of a 'State' in Syria under Conflict: A Poll Survey Data Analysis	2018年9月	WSSF(世界社会科学フォーラム)第4回世界大会, 福岡国際会議場, 福岡市博多区	
47	宮脇昇	New MAD in the NEA? Mutual Assured Dependence without Rich Connectivity from Mongolia	2018年9月	Conference of possibilities to promote economic security and cooperation of Northeast Asian Countries, 東京大学, 東京都文京区	
48	板木雅彦	世界経済の構造——修正ケインズ・フォン・ノイマン型価格体系と物量体系の双対性より	2018年10月	日本国際経済学会2018年度全国大会, 関西学院大学, 兵庫県西宮市	
49	井出文紀	日本酒蔵元の集積と海外展飛騨・信州の事例から—	2018年10月	日本国際経済学会2018年度全国大会, 関西学院大学, 兵庫県西宮市	
50	小山大介	地域経済からみた財・サービス貿易と地域内経済循環の可能性	2018年10月	日本国際経済学会2018年度全国大会, 関西学院大学, 兵庫県西宮市	
51	菊池俊介	中国共産党的淪陷区工作与日偽在華北的統治	2018年10月	哲学と社会科学系学術沙龍, 北京大学, 中国北京市	
52	中川洋一	2017年ドイツ連邦議会選挙と連邦政治への影響	2018年10月	日本政治学会2018年度総会研究大会, 関西大学, 大阪府吹田市	
53	君島東彦	日本平和学会の現状と課題—歴代会長との意見交換	2018年10月	日本平和学会秋季研究集会, 龍谷大学, 京都市伏見区	
54	宮脇昇	Incheon at the Russo-Japanese War: Witness of the battle and wounded crew	2018年10月	Forum on Wars in Incheon and World Peace, Incheon, Korea	
55	星野郁	【討論】EUの金融同盟が迫る銀行業態の改革	2018年10月	2018年日本国際経済学会秋季大会, 関西学院大学, 兵庫県西宮市	川野祐司
56	角本和理	サイバー社会における私法上のプライバシー・自己決定の保護のあり方に関する一考察—アメリカの議論を参考に	2018年10月	日本私法学会第82回大会, 東北大学, 仙台市青葉区	
57	城山拓也	浅談中国現代芸術中漫画的作用	2018年11月	「上海城市研究新動向」研討会, 上海社会科学院, 中国上海市	
58	中川洋一	メルケル政権下のドイツのエネルギー・気候保全政策の変容と現状	2018年11月	日本国際政治学会2018年度研究大会, 大宮ソニックセンター, 埼玉県さいたま市	
59	Miwa Hirono	Global Orders in Transition?	2018年11月	Ash Center Community Speakers Series, Harvard Kennedy School, Cambridge MA, the US	
60	Miwa Hirono	China's Conflict Mediation and the Durability of the Principle of Non-Interference: The Case of Post-2014 Afghanistan	2018年11月	Danish Institute of International Studies, Copenhagen, Denmark	
61	クロス京子	東ティモールの治安部門改革(SSR)—国連と政府のせ	2018年11月	日本国際政治学会2018年度研究大会, 大宮ソニックシティ, 埼玉県さいたま市	

		めぎあいから生まれた国家建設の行方		市	
62	足立研幾	【討論】 Security Governance in Mindanao: Military, Police, Armed Groups, and Outsiders	2018年11月	Workshop, Ritsumeikan University, Kyoto, Japan	
63	岩田拓夫	ガーナ・アクラフォーラムでの発表概要 (Political Satire and Comedy in Africa)	2018年11月	「アフリカ潜在力」と現代世界の困難の克服：人類の未来を展望する総合的地域研究 (科研費基盤S) 研究会, 京都大学, 京都市北区	
64	岩田拓夫	A Turning Point of Japan's Soft Power Strategies in Africa	2018年11月	International Workshop “New Asian Approaches to Africa”, 立命館大学衣笠キャンパス, 京都市北区	
65	岩田拓夫	New Asian Approaches to Africa – Potentialities and Challenges –	2018年11月	International Workshop “New Asian Approaches to Africa”, 立命館大学衣笠キャンパス, 京都市北区	
66	末近浩太	Reconsidering a State in Syria under Conflict: The 2017 Poll Survey Analysis	2018年11月	中東研究会, 上海外国語大学, 中国・上海市	
67	本名純	Jokowi's TNI: Patronization, Factionalization, and Organizational Expansion	2018年11月	Indonesia Workshop, Kyushu University, Fukuoka, Japan	
68	本名純	Mutual Love or Marriage of Convenience? Right-Wing Populism and Islamic Populism in Indonesia	2018年11月	Indonesia-Japan Bilateral Dialogue: Symposium on Commemorating the 60 th Anniversary of Japan-Indonesia Diplomatic Relations, organized by CSIS-GRIPS, Bali, Indonesia	
69	本名純	【パネリスト】アジアや日本はどのような民主主義を目指すのか	2018年11月	第4回アジア言論人会議、言論NPO主催, ホテルオークラ東京, 東京都港区	
70	角本和理	AI, Torts, and Social Security--- "Comprehensive Compensation Scheme" in the Age of AI	2018年11月	Welfare and social governance in East Asia China-Japan Symposium, 東北财经大学, 中国遼寧省大連市	
71	板木雅彦	ケインズ経済学の失敗——国際経済学の新たな構築に向けて——	2018年12月	東京新世界経済研究会, 立教大学, 東京都豊島区	
72	鳥谷まゆみ	漂泊するアイデンティティ：周作人の立教大学再訪とその旧詩から	2018年12月	中国モダニズム研究会12月例会, 関西大学, 大阪府吹田市	
73	星野郁	イタリアの危機とその行方	2018年12月	関西EU研究会, 金沢婦人会館, 石川県金沢市	
74	本名純	Rival of Extra-judicial Killings as Governance: Jokowi's War on Drugs	2018年12月	第一回インドネシア研究懇話会・設立記念大会, 京都大学, 京都市中京区	
75	足立研幾	【司会兼討論】リアリズムと安全保障研究	2018年12月	国際安全保障学会, 青山学院大学, 東京都渋谷区	
76	岩田拓夫	Political Satire and Comedy in Africa	2018年12月	Africa Potential Conference, Accra, Ghana	
77	嶋田晴行	Afghan Refugees in Germany – Afghanistan is a safe place	2018年12月	人間の安全保障学会, 広島市立大学, 広島市安佐南区	
78	クロス京子	Redressing Historical Injustice in Bangsamoro: The Way forward to Pursue People-Centered Transitional Justice	2018年12月	人間の安全保障学会, 広島市立大学, 広島市安佐南区	
79	末近浩太	Is al-Assad's Victory Ending the War in Syria?: Re-examining the State-diffusion Thesis	2018年12月	Relational Studies on Global Conflicts, Toward a New Approach to Contemporary Crises, Belgrade, Serbia	

80	黒田彩加	イジュティハードを担うのは誰か? 『現代のイスラーム』誌にみるイスラーム法の現代的可能性	2018年12月	NIHU 現代中東地域研究共同研究「アラブ世界における近代的メディアとイスラーム—『穏健主流派』を中心に」(代表:千葉悠志)研究会, 公立小松大学, 石川県小松市	
81	廣野美和	中国の平和構築と人道支援—現地からの視点から見た国際的責任	2018年12月	日本国際平和構築協会, 平和構築フォーラム東京2018, 東京都新宿区	
82	廣野美和	中国の平和構築と人道支援—現地からの視点から見た国際的責任	2018年12月	グローバルガバナンス学会研究会, 名古屋大学, 名古屋市千種区	
83	苑志佳	中国自動車金型産業に現れる「外部資源の内部化」行動に関する研究—その発生の実態を分析する—	2018年12月	2018年度産業学会東部部会, 立正大学品川キャンパス, 東京都品川区	
84	竇少杰	關於接班人教育的日中比較(後継者教育に関する日中比較)	2018年12月	第5回中国家族企業伝承主題論壇, 中欧国際商学院, 中国上海市	
85	竇少杰	家族企業の永続経営と事業承継:日本の老舗企業研究から	2018年12月	日中韓女性経済会議2018, 国立京都国際会館, 京都市左京区	
86	竇少杰	日本老舗的永続経営:従業業伝承的視点出發(日本老舗企業の永続経営)	2018年12月	2018日本老舗文化週末, 家業長青接班人学院上海分院, 中国上海市	
87	末近浩太	レバノン:「決めない政治」をやめるフリをすることを「決める」	2019年1月	シンポジウム『「アラブの心臓」に何が起こったのか』, 立命館大学, 京都市北区	
88	竇少杰	傳承的動力は家族:老店哲学と匠心精神(継承の動力は家族:老舗の哲学と職人精神)	2019年1月	2018家業長青接班人学院企業家家人会, 家業長青接班人学院, 中国寧波市	
89	楊秋麗	中国大型国有企業の再編—「官官競争」志向からグローバル競争志向へ—	2019年2月	異文化経営学会関西西部会2018年度第2回研究会, 近畿大学, 大阪府東大阪市	
90	小田美佐子	「中国民法典各論編纂の構想」の通訳	2019年2月	国際学術シンポジウム「中国における民法典の整備の最新動向」, ALWF ロッキースター, 静岡市葵区	孫憲忠
91	朱曄	「米国から見た中国民法典の整備」の通訳	2019年2月	国際学術シンポジウム「中国における民法典の整備の最新動向」, ALWF ロッキースター, 静岡市葵区	藏東昇
92	小田美佐子	「日本の歴史修正主義の問題について」の通訳	2019年2月	第3回日中平和対話, 立命館大学. 大阪府茨木市	蘇知良
93	小田美佐子	「北朝鮮の非核化プロセス」の通訳	2019年2月	第3回日中平和対話, 立命館大学. 大阪府茨木市	朱峰
94	小田美佐子	「日中協働による平和学構築の可能性」の通訳	2019年2月	第3回日中平和対話, 立命館大学. 大阪府茨木市	佐々木寛
95	陳晋	中国製造業競争力の光と陰	2019年3月	華人経済経営研究会第134回例会, 大阪府シキボウ株式会社地下1階会議室, 大阪府中央区	
96	Miwa Hirono	China's Peacebuilding and Humanitarian Assistance: International Responsibility from Insider Perspectives	2019年3月	China Harvard Salon, Cambridge MA, the US	
97	Miwa Hirono	China's International Responsibility from Insider Perspectives: The Case of South Sudan	2019年3月	International Studies Association 60th Annual Convention, Toronto, Canada	
98	竇少杰	日中比較から見る家族企業の事業承継	2019年3月	Beyond Ecosystem of SME 2019, Seoul, South Korea	
99	安江則子	欧州における『多様性のなかの統合』と言語	2019年3月	国際研究集2019 CEFR の理念と現実, 京都大学, 京都市左京区	討論者:ナタリー・オジェ(モンペリエ大学)
100	中川洋一	ドイツ・メルケル政権のエネルギー・気候保全政策における共治制度の変容	2019年3月	文化地質研究会第2回学術大会, 大谷大学, 京都市北区	

(4). 主催したシンポジウム・研究会等					
No.	発表会議名	開催場所	発表年月	来場者数	共催機関名
1	第61回日米中政治経済研究会	衣笠キャンパス	2018年4月	14名	
2	IIRAS Seminar “CHINA AND THE UNITED NATIONS ‘Has China been truly socialized into UN norms?’“	衣笠キャンパス	2018年4月	25名	
3	IIRAS Seminar “Military Politics in the Post-2014 Coup Thailand”	衣笠キャンパス	2018年4月	11名	
4	Seminar “What is Going on in Gaza, Palestine? From Mass Protests, Resisting Apartheid To The Right of Return”	衣笠キャンパス	2018年4月	20名	● 科学研究費助成事業(新学術領域研究)研究計画 B02「越境的非国家ネットワーク:国家破綻と紛争」(課題番号 16H06550)
5	Thomas Boutonnet ストラスブール大学准教授を招いての研究会——フランスの現代中国研究との対話	衣笠キャンパス	2018年4月	20名	● 立命館大学文学研究科現代東アジア言語・文化学専修
6	第62回日米中政治経済研究会	衣笠キャンパス	2018年5月	11名	
7	中国多国籍企業研究会	大阪茨木キャンパス	2018年5月	5名	● 科研費基盤研究(C)「中国多国籍企業の発展の現段階と中所得国多国籍企業論」研究会
8	Young Scholars Session “Unprotected Minority and OSCE: The Myth of HCNM and its Limitation”	衣笠キャンパス	2018年5月	20名	● 立命館大学アジア・日本研究機構 ● 立命館大学国際関係研究科 ● 科学研究費助成事業(新学術領域研究)研究計画 B02「越境的非国家ネットワーク:国家破綻と紛争」(課題番号 16H06550)
9	Young Scholars Session “Political Communication During the Syrian Crisis: Comparative Analysis of TV Channels Discourse 2010-2016”	衣笠キャンパス	2018年5月	25名	● 科学研究費助成事業(新学術領域研究)研究計画 B02「越境的非国家ネットワーク:国家破綻と紛争」(課題番号 16H06550)
10	Young Scholars Session ‘Why and How Do I “Research”? My (sometimes failed) struggle to understand Malaysia’	衣笠キャンパス	2018年5月	20名	● 立命館大学国際関係研究科 ● 科学研究費助成事業(新学術領域研究)研究計画 B02「越境的非国家ネットワーク:国家破綻と紛争」(課題番号 16H06550)
11	Young Scholars Session “Beyond the Culture: Why I Study in Japan?”	衣笠キャンパス	2018年5月	20名	● 科学研究費助成事業(新学術領域研究)研究計画 B02「越境的非国家ネットワーク:国家破綻と紛争」(課題番号 16H06550)
12	『セキュリティ・ガバナンス論の脱西欧化と再構築』出版記念シンポジウム, セキュリティ・ガバナンス論の脱西欧化と再構築—グローバル国際関係学を目指して	衣笠キャンパス	2018年6月	38名	● 立命館大学アジア・日本研究機構
13	International Workshop 1 “The World is Marveling at Japan! Japanese strategies to cope with decline”	衣笠キャンパス	2018年6月	35名	● 立命館大学アジア・日本研究機構 ● 立命館大学国際関係研究科 ● 科学研究費助成事業(新学術領域研究)研究計画 B02「越境的非国家ネットワーク:国家破綻と紛争」(課題番号 16H06550)
14	IIRAS Seminar “Will the AIIB trigger off a new round of rivalry in economic diplomacy between China and Japan?”	衣笠キャンパス	2018年6月	26名	
15	Seminar “Islamic education and sense of belonging in the Deep South of Thailand”	衣笠キャンパス	2018年6月	20名	● 科学研究費助成事業(新学術領域研究)研究計画 B02「越境的非国家ネットワーク:国家破綻と紛争」(課題番号 16H06550)
16	Seminar “The Insecurity Trap: Violence, Order and Contemporary State-Building”	衣笠キャンパス	2018年6月	37名	● 立命館大学アジア・日本研究機構 ● 立命館大学国際関係研究科 ● 科学研究費助成事業(新学術領域研究)研究計画 B02「越境的非国家ネットワーク:国家破綻と紛争」(課題番号 16H06550)
17	Special Lecture “Towards a Global IR: Origins, Evolution and Transformation of a Discipline”	衣笠キャンパス	2018年7月	70名	● 立命館大学アジア・日本研究機構 ● 立命館大学国際関係研究科
18	第63回日米中政治経済研究会	衣笠キャンパス	2018年9月	10名	

19	研究会「2018・2019年アフガニスタン選挙と民主主義—紛争国における民主化の課題—」	衣笠キャンパス	2018年9月	6名	
20	Seminar “Research in Africa”	衣笠キャンパス	2018年10月	38名	<ul style="list-style-type: none"> ● 立命館大学国際関係学部 ● 立命館大学国際関係研究科 ● 立命館大学アジア・日本研究機構 ● 科学研究費助成事業(新学術領域研究)研究計画 B02「越境的非国家ネットワーク:国家破綻と紛争」(課題番号 16H06550)
21	第64回日米中政治経済研究会	衣笠キャンパス	2018年11月	8名	
22	Young Scholars Session “Orchestrating Humanitarian Governance: Change in the Role of the United Nations Office for the Coordination of Humanitarian Affairs (OCHA)”	衣笠キャンパス	2018年11月	35名	<ul style="list-style-type: none"> ● 立命館大学国際関係研究科 ● 立命館大学アジア・日本研究機構 ● 科学研究費助成事業(新学術領域研究)研究計画 B02「越境的非国家ネットワーク:国家破綻と紛争」(課題番号 16H06550)
23	講演会「移民・難民・棄民—タイ・ミャンマー国境から—」	衣笠キャンパス	2018年11月	25名	<ul style="list-style-type: none"> ● 立命館大学アジア・日本研究機構 ● 立命館大学国際関係研究科
24	International Workshop “New Asian Approaches to Africa”	衣笠キャンパス	2018年11月	28名	<ul style="list-style-type: none"> ● 立命館大学国際関係研究科 ● 立命館大学国際言語文化研究所
25	Special Lecture “Damascus in the Eye of the Storm:How Human Rights Lost the Agenda in Syria”	衣笠キャンパス	2018年11月	45名	<ul style="list-style-type: none"> ● 立命館大学国際関係学部 ● 立命館大学国際関係研究科 ● 立命館大学アジア・日本研究機構 ● 科学研究費助成事業(新学術領域研究)研究計画 B02「越境的非国家ネットワーク:国家破綻と紛争」(課題番号 16H06550)
26	Symposium “Security Governance in Mindanao: Military, Police, Armed Groups, and Outsides”	衣笠キャンパス	2018年11月	32名	<ul style="list-style-type: none"> ● 立命館大学アジア・日本研究機構 ● 立命館大学国際関係研究科
27	Seminar “Contemporary Nigerian Politics— Competition in a Time of Transition and Terror —“	衣笠キャンパス	2018年11月	17名	<ul style="list-style-type: none"> ● 立命館大学国際関係研究科
28	Seminar “The Aftermath of a Protest Movement in Turkey-Challenges of Studying Social Movements-“	衣笠キャンパス	2018年11月	40名	<ul style="list-style-type: none"> ● 科学研究費助成事業(新学術領域研究)研究計画 B02「越境的非国家ネットワーク:国家破綻と紛争」(課題番号 16H06550)
29	第65回日米中政治経済研究会	衣笠キャンパス	2018年12月	13名	
30	公開セミナー「ハイブリッドな国家建設—自由主義と現地重視の狭間で—」	衣笠キャンパス	2018年12月	15名	<ul style="list-style-type: none"> ● 立命館大学人文科学研究所 ● 立命館大学アジア・日本研究機構 ● 立命館大学国際関係研究科
31	International Symposium “Inequality in Security Relations:Japan, Okinawa, and Taiwan in the Japan-US Security Treaty System”	衣笠キャンパス	2018年12月	30名	
32	Special Seminar “Asia-Africa relations: the way Korean and African cultures encounter”	衣笠キャンパス	2018年12月	17名	<ul style="list-style-type: none"> ● 京都大学アフリカ地域研究センター
33	「中国国有企業改革 40周年の課題」 専門家会議	衣笠キャンパス	2018年12月	14名	<ul style="list-style-type: none"> ● 科研費 基盤研究(C)「中国多国籍企業の発展の現段階と中所得多国籍企業論(研究代表:中川涼司)」 ● 科研費 基盤研究(C)「中国経済減速と『体制以降の畏』克服」(研究代表者:松野 周治)
34	「中国市場ビジネス戦略研究会」第1回セミナー	大阪梅田キャンパス	2019年1月	10名	なし
35	シンポジウム『「アラブの心臓」に何が起こったのか・現代中東の実像を捉える』	衣笠キャンパス	2019年1月	90名	<ul style="list-style-type: none"> ● 龍谷大学社会科学研究所 共同研究プロジェクト「中東諸国民の国際秩序観」(研究代表者:濱中新吾) ● 科学研究費補助金・新学術領域研究(研究領域提案型)「グローバル関係学」計画研究 B02「越境的非国家ネットワーク:国家破綻と紛争」(研究代表者:末近浩太) ● 科学研究費補助金・基盤研究(A)「東アラブ地域の非公的政治主体による国家機能の補完・篡奪に関する研究」(研究代表者:青山弘之)

					● 科学研究費補助金・基盤研究 (B) (海外学術調査)「現代中東におけるイスラーム主義運動の動向と政治的帰結に関する比較理論研究」(研究代表者:末近浩太)
36	第66回日米中政治経済研究会	衣笠キャンパス	2019年2月	11名	
37	第3回日中平和対話	大阪茨木キャンパス	2019年2月	48名	● 日本平和学会 ● チャール学会 ● 南京大虐殺史と国際平和研究所 ● 南京大学平和学国連ユネスコチェア
38	「中国市場ビジネス戦略研究会」第2回セミナー	大阪茨木キャンパス	2019年2月	5名	なし
39	研究会「日本と中国のAIとIoTの発展とその課題」	衣笠キャンパス	2019年3月	9名	● 国際地域研究所日米中政治経済研究会 ● 上海社会科学院応用経済研究所
40	【ワークショップ】紛争社会の安定に向けてー国際社会の論理、地域の現実ー	衣笠キャンパス	2019年3月	5名	● 立命館大学人文科学研究所 ● 立命館大学アジア・日本研究機構
41	【国際ワークショップ】東南アジアの地域変動と安全保障ーASEAN、人間の安全保障、平和構築ー	衣笠キャンパス	2019年3月	14名	● 立命館大学人文科学研究所 ● 立命館大学アジア・日本研究機構
42	【ワークショップ】一帯一路&インド太平洋時代の地域秩序	衣笠キャンパス	2019年3月	15名	● 立命館大学人文科学研究所 ● 立命館大学アジア・日本研究機構
43	中国語圏地域人文学研究会	衣笠キャンパス	2019年3月	5名	

(5). その他研究活動 (報道発表や講演会等)				
No.	氏名	研究業績名	発表場所等	研究期間
(講演会)				
1	末近浩太	イスラームを考える	おとなの学び舎18「現代世界におけるイスラームを考える」, 立命館大学, 大阪市北区(計4回講義)	2018年4月18日
2	君島東彦	六面体としての憲法9条	沼津市憲法記念日市民のつどいブラサヴェルデ, 静岡県沼津市	2018年5月3日
3	本名純	Supporting Indonesia's Democratic Transition: JICA's Contribution and Our Future Agenda	Symposium on Indonesia-Japan Development Cooperation - "Building the Future Based on Trust", organized by JICA and Bappenas, Jakarta, Indonesia	2018年5月14日
4	末近浩太	現代中東における「宗教と政治」	おとなの学び舎'18「現代世界におけるイスラームを考える」, 立命館大学, 大阪市北区(計4回講義)	2018年5月16日
5	苑志佳	中国経済のグローバル化ー企業の海外進出を中心にー	デリバリーカレッジ, 千葉市生涯学習センター3階, 大研修室会議室	2018年5月17日
6	本名純	最近の政治情勢と大統領選挙の展望	日本インドネシア協会, 三井住友銀行呉服橋ビル, 東京都中央区	2018年5月25日
7	君島東彦	アジア太平洋における憲法9条ー改憲護憲論争を超えて	青年法律家協会京都支部, 京都弁護士会館, 京都市中京区	2018年5月29日
8	末近浩太	イスラームと政治の関係を再考する:「幕末」としての中東現代史	不識塾 ステーションコンファレンス東京, 東京都千代田区	2018年6月2日
9	河村有介	パンと仕事-独裁国家エジプトの社会保障-	ライスボールセミナー, 創思館1階カンファレンスルーム, 立命館大学, 京都市北区	2018年6月12日
10	末近浩太	イスラーム復興の挑戦	おとなの学び舎'18「現代世界におけるイスラームを考える」, 立命館大学, 大阪市北区(計4回講義)	2018年6月20日
11	黒田彩加	宗教で読み解くエジプト-「穏健派」イスラームのゆくえ	ライスボールセミナー, 創思館1階カンファレンスルーム, 立命館大学, 京都市北区	2018年6月26日
12	嶋田晴行	Special Lecture for PEACE Students in GSID, Nagoya University	名古屋大学国際開発研究科30周年シンポジウム, SDGsと新国際開発協力パラダイム 名古屋大学, 名古屋市千種区	2018年7月7日
13	君島東彦	加藤周一の平和主義	立命館土曜講座「加藤周一歿後10年記念:加藤周一を引き継ぐために」, 立命館大学, 京都市北区	2018年10月20日
14	末近浩太	イスラーム主義と中東の現在を考える(政治と宗教)	朝日カルチャーセンター新宿教室, 東京都新宿区	2018年10月28日

15	本名純	Toward Human Security 2.0	7th Sustain Conference, Padang, West Sumatra, Indonesia	2018年10月29日
16	末近浩太	激動の中東政治とイスラーム主義	兵庫県阪神シニアカレッジ・国際理解講座, 尼崎市中小企業センター, 兵庫県尼崎市	2018年11月27日
17	岩田拓夫	変わりゆくアジアとアフリカの関係	龍谷大学大学院アジア・アフリカプロジェクト講演会	2019年1月21日
(メディア掲載)				
18	本名純	FBによる情報戦争	じゃかるた新聞	2018年4月9日
19	末近浩太	ロシア優位の情勢変わらず(米英仏によるシリア攻撃について)	時事通信	2018年4月14日
20	末近浩太	露の主導権 揺るがず	「毎日新聞」分析・解説面	2018年4月15日
21	末近浩太	にらみ合い 当分続くのでは	「朝日新聞」国際面	2018年4月15日
22	末近浩太	シリア内戦は「アメリカの攻撃」でむしろ悪化したかもしれない	「現代ビジネス」講談社	2018年4月16日
23	星野郁	英国、19年3月EU 離脱へ 政府・産業界、腰定まらず 通商関係の選択肢限定的	「日本経済新聞社」朝刊	2018年5月11日
24	本名純	暴徒化事件と爆弾テロ	じゃかるた新聞	2018年5月14日
25	本名純	スラバヤでの自爆テロについてのコメント	「朝日新聞」朝刊国際面	2018年5月15日
26	本名純	スラバヤでの自爆テロについてのコメント	時事通信	2018年5月19日
27	末近浩太	「もう一つの近代」という希望——長い帝国崩壊の過程のなかで:『イスラーム主義』著者、末近浩太氏インタビュー	SYNODOS	2018年5月25日
28	佐藤麻理絵	イスラーム世界の「移動文化」	α-SYNODOS, vol.245	2018年6月1日
29	本名純	インドネシアテロ対策についてのコメント	「日本経済新聞」朝刊国際面	2018年6月5日
30	本名純	オッサン世代の危機感	じゃかるた新聞	2018年6月11日
31	宮脇昇	Улаанбаатарын яриа хэлэлцээ” жижиг орнуудад ашигтай уулзалт (On the Fifth Ulaanbaatar Dialogue/第五回ウランバートル対話の意義)	Bloomberg TV	2018年6月19日
32	末近浩太	テーブルトーク:「新たな近代」創造に期待	「朝日新聞」大阪本社版夕刊スポーツ面	2018年8月29日
33	宮脇昇	БНАСАУ “Түүхэн уулзалт”-аар өгсөн амлалтдаа хүрэх дорвитой ажил хийхгүй бол Дональд Трампийн Засгийн газар хатуу арга хэмжээ авна(北朝鮮の歴史的会談の後の行動によってトランプ政権の対応が変わる)	Bloomberg TV	2018年8月31日
34	本名純	東南アジアにおける麻薬との戦い: ジャカルタの現場から	SYNODOS	2018年9月7日
35	本名純	鍵握る副大統領候補	じゃかるた新聞	2018年7月9日
36	本名純	ジョコウィの選択	じゃかるた新聞	2018年8月13日
37	本名純	表と裏の選挙戦	じゃかるた新聞	2018年9月10日
38	末近浩太	「はじめての新書」読書案内	岩波書店, 『図書』臨時増刊2018「はじめての新書」, pp. 64-65	2018年10月1日
39	末近浩太	普遍的な意味ある(ナディア・ムラド氏のノーベル平和賞受賞について)	「京都新聞」総合面	2018年10月6日
40	本名純	パル津波とインドネシア大統領選挙についてのコメント	Nikkei Asian Review	2018年10月10日

41	本名純	陸軍の掌握	じゃかるた新聞	2018年10月15日
42	末近浩太	安田純平さんの会見要旨(安田純平さんの記者会見を受けて、犯行グループの背景について)	共同通信	2018年11月2日
43	本名純	硬軟両面の選挙戦略	じゃかるた新聞	2018年11月12日
44	末近浩太	「戦争と武力紛争の兵器」としての性暴力：ナディア・ムラド氏自伝『THE LAST GIRL』	SYNODOS	2018年12月6日
45	本名純	プラボウォとモラルの選挙戦略	じゃかるた新聞	2018年12月17日
46	本名純	大統領選挙についてのコメント	「朝日新聞」朝刊国際面	2018年12月17日
(その他)				
47	本名純	控えめながらも柔軟で多角的な JICA の民主化支援を考える	JICA, 『国際協力機構「インドネシアに対する日本の協力の足跡～寄稿集』, pp.48-50	2018年6月
48	末近浩太	ヒズブラー：諮問会議と党大会	CMEPS-J Report No.36	2018年7月10日
49	末近浩太	ヒズブラー：組織体系	CMEPS-J Report No.37	2018年7月10日
50	末近浩太	レバノン第19期国民議会選挙(2018年)データベース(青山弘之・末近浩太・溝渕正季)	CMEPS-J Report No.43(集計報告書)	2018年9月24日
51	末近浩太	2017 Opinion Poll in Syria: Sampling Method and Descriptive Statistics	Relational Studies on Global Crises, Online Paper Series, No.6, Research Report No.3	2019年1月15日
52	末近浩太	“Report of Simple Tally of Middle East Public Opinion Survey (Syria Internally Displaced Persons 2018)” Hiroyuki AOYAMA, Yutaka TAKAOKA, Shingo HAMANAKA, Kohei IMAI, Kota SUECHIKA, Aiko NISHIKIDA, Dai YAMAO and Masaki MIZOBUCHI	CMEPS-J Report No.46(集計報告書)	2019年2月23日

(6). 受賞学術賞

No.	氏名	授与機関名	受賞名	タイトル	受賞年月
1	末近浩太	公益財団法人大同生命国際文化基金	大同生命地域研究奨励賞	「シリア・レバノンを中心とした現代中東におけるイスラーム主義思想・運動研究」に対して	2018年7月
2	末近浩太	ハダーリー・イスラーム文明研究センター	イスラーム文明研究ハダーリー賞 2018年	著作「イスラーム主義-もう一つの近代を構想する」	2018年12月
3	佐藤麻里絵	ハダーリー・イスラーム文明研究センター	イスラーム文明研究ハダーリー賞 2018年	「現代中東における難民とその生存基盤-難民ホスト国ヨルダンの都市・イスラーム・NGO」	2018年12月

(7). 科学研究費助成事業

No.	氏名	研究課題	研究種目	開始年月	終了年月	役割
1	宮脇昇	変貌する大国間関係・グローバル市民社会の交錯とグローバル・ガバナンス	基盤研究(B)	2018年7月	2021年3月	分担
2	末近浩太	東アラブ地域の非公的政治主体による国家機能の補完・篡奪に関する研究	基盤研究(A)	2018年4月	2023年3月	分担
3	佐藤麻里絵	現代中東におけるイスラーム的 NGO の域内ネットワークの解明:ヨルダンを中心に	若手研究	2018年4月	2021年3月	代表
4	中川涼司	中国多国籍企業の発展の現段階と中所得国多国籍企業論	基盤研究(C)	2018年4月	2021年3月	代表
5	楊秋麗	中国多国籍企業の発展の現段階と中所得国多国籍企業論	基盤研究(C)	2018年4月	2021年3月	分担

6	守政毅	中国多国籍企業の発展の現段階と中所得国多国籍企業論	基盤研究(C)	2018年4月	2021年3月	分担
7	苑志佳	中国多国籍企業の発展の現段階と中所得国多国籍企業論	基盤研究(C)	2018年4月	2021年3月	分担
8	苑志佳	東アジアへの日本型経営・生産システムの国際移転可能性に関する異時点間比較研究	基盤研究(C)	2018年4月	2021年3月	分担
9	竇少杰	家族企業の事業承継問題に関する日中台の国際比較研究	基盤研究(C)	2017年4月	2021年3月	代表
10	廣野美和	中国の国際紛争における役割:「不介入主義」の現実	基盤研究(C)	2017年4月	2020年3月	代表
11	本名純	武力紛争後状況の多元的研究ーボスニア紛争を通じた専門分野間の対話の試み	基盤研究(B)	2017年7月	2020年3月	分担
12	本名純	コミュニティ・ポリシングの紛争予防効果	基盤研究(B)	2017年7月	2020年3月	分担
13	足立研幾	セキュリティ・ガバナンス概念の再検討	基盤研究(C)	2017年4月	2022年3月	代表
14	福海さやか	EUの規範パワーの持続可能性に関する実証研究	基盤研究(B)	2017年4月	2021年3月	分担
15	宮脇昇	経済制裁の問題点と課題ー対抗制裁の民	特別研究員奨励費(受入)	2017年4月	2020年3月	代表
16	本名純	東南アジアにおける応答性の政治ーアカウンタビリティ改革の導入とポピュリズムの台頭	基盤研究(B)	2017年4月	2020年3月	分担
17	本名純	インドネシアの中央・地方レベルにおける選挙政治の変容と「庶民派」リーダーの台頭	基盤研究(C)	2017年4月	2020年3月	代表
18	松村博行	国際安全保障環境に対する科学技術イノベーションの影響:プロセスと規定要因の解明	基盤研究(B)	2017年4月	2020年3月	分担
19	黒田彩加	グローバル・イスラームの国際連携:過激派に対峙する新思想家群	特別研究員奨励費	2017年4月	2020年3月	代表
20	末近浩太	グローバル秩序の溶解と新しい危機を超えて:関係性中心の融合型人文社会科学の確立	新学術領域研究(領域提案型)	2016年6月	2021年3月	分担
21	末近浩太	関係性を中心とした融合型人文社会科学のための国際学術ネットワークの確立と活性化	新学術領域研究(領域提案型)	2016年6月	2021年3月	分担
22	末近浩太	越境的非国家ネットワーク:国家破綻と紛争	新学術領域研究(領域提案型)	2016年6月	2021年3月	代表
23	宮脇昇	公共政策決定過程における「談合」「取引」の発生要因の研究	基盤研究(C)	2016年4月	2020年3月	代表
24	末近浩太	宗教の政治化と政治の宗教化:現代中東の宗派対立における社会的要因と国際政治の影響	基盤研究(A)	2016年4月	2019年3月	分担
25	末近浩太	現代中東におけるイスラーム主義運動の動向とその政治的帰結に関する比較理論研究	基盤研究(B)	2016年4月	2019年3月	代表
26	佐藤麻理絵	イスラーム的NGOが創る21世紀型人道支援システム:中東の地域紛争と難民を事例に	特別研究員奨励費	2016年4月	2019年3月	代表
27	宮脇昇	20世紀初頭における北東アジア国際関係史の再検討	基盤研究(C)	2015年4月	2019年3月	分担
28	宮脇昇	資源通過国の資源紛争当事者化についての研究	基盤研究(C)	2015年4月	2019年3月	代表
29	クロス京子	移行期正義の概念的・制度的拡大ーアチェとミンダナオにみる社会的・経済的正義とは	基盤研究(C)	2015年4月	2019年3月	代表

(8). 競争的資金等(科研費を除く)

No.	氏名	研究課題	資金制度・研究費名	採択年月	終了年月	役割
1	廣野美和	China's Peacebuilding and Humanitarian Assistance: International	フルブライトフェローシップ(日米教育委員会)	2018年4月	2019年3月	代表

		Responsibility from Local Perspectives				
--	--	--	--	--	--	--

(9). 知的財産権							
No.	氏名	名称	出願人 区分	発明人 区分	出願番号	公開番号	登録(特許)番号 国
なし							